千早赤阪村告示第 22 号

千早赤阪村ギフチョウ等保護監視員活動要領

(趣旨)

第 1 条 この要領は、金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例（平成 30 年千早赤阪村条例第 31 号。以下「条例」という。）第 26 条第 1 項の規定に基づき指定したギフチョウ及びその幼虫が食草とするミヤコアオイ（以下「ギフチョウ等」という。）の保護について、条例第 27 条の規定に基づきギフチョウ等保護監視員を置き、保護活動を行うために必要な事項を定めるものとする。

(活動)

第 2 条 監視員は、村内でギフチョウ等が生息する地域（以下「生息地域」という。）を巡視して、次の活動を行うものとする。

- (1) 生息地域の状況を把握し、千早赤阪村で観光業務を担当する課（以下「観光主管課」という。）に報告すること。
- (2) 無許可で条例第 26 条第 4 項に定める禁止行為（以下「禁止行為」という。）をしようとする者を発見した場合は、ギフチョウ等の保護趣旨を説明し、指導に当たるとともに、必要と認められる事項を観光所管課に報告すること。
- (3) 無許可で禁止行為をした者を発見した場合は、ギフチョウ等の保護趣旨を説明するとともに直ちに当該禁止行為を中止するよう指導し、これに応じない場合は、観光所管課に通報すること。また、緊急かつやむを得ない場合は、警察に通報すること。
- (4) その他観光所管課から指示された活動

(報告)

第 3 条 監視員が行う観光所管課への報告は、次のとおりとする。

- (1) 違反報告 監視員は、無許可で禁止行為をしたものを発見した場合は、ギフチョウ等の保護に関する違反報告書（様式第 1 号）により、速やかに観光所管課に報告すること。
- (2) 定期報告 監視員は、活動に従事したときは、その状況を月ごとに取りまとめ、監視状況報告書（様式第 2 号）により翌月の 10 日までに観光所管課に報告すること。

(3) 臨時報告 監視員は、ギフチョウ等の保護に関する事項について特に報告する必要があると認めたときは、監視地域報告書（様式第3号）により、速やかに観光所管課に報告すること。

（通信費）

第4条 観光所管課は、監視員に対し、その活動に係る通信費を支給することができる。

2 監視員の活動に係る通信費は、その年度の最初の監視状況報告書が提出されたときに、当該年度分の通信費を支給するものとし、支給する通信費の額については、別に定める。

（遵守事項）

第5条 監視員は、次の事項を遵守して活動しなければならない。

(1) 活動中は、条例第27条第3項の証明書を携帯し、監視員腕章を必ず着用すること。

(2) 指導等を行うときは、相手方の人格を尊重し、不快な念を抱かせることのないよう懇切丁寧な態度で接するとともに、差別的な取扱いとならないよう留意すること。

（その他）

第6条 この要領に定めるもののほか、監視員の活動に関し必要な事項は、観光所管課が別に定める。

附 則

この要領は、告示の日から施行する。